

教育委員会 2 月定例会 会議録

- 1 開催日時 令和 5 年 2 月 1 日 (水) 午後 3 時から午後 3 時50分
- 2 場 所 教育委員会室
- 3 出席委員
- | | | |
|--------|-----|-----|
| 教 育 長 | 丸 山 | 陽 一 |
| 同職務代理人 | 近 藤 | 守 |
| 委 員 | 塚 田 | まゆり |
| 委 員 | 茅 野 | 理 恵 |
| 委 員 | 鷲 澤 | 幸 一 |
- 4 説明のために会議に出席した者
- | | | |
|-----------------|-----|-----|
| 教 育 次 長 | 藤 澤 | 勝 彦 |
| 教 育 次 長 | 勝 野 | 学 |
| 参 事 兼 学校教育課長 | 上 石 | 秀 明 |
| 総 務 課 長 | 北 島 | 克 彦 |
| 保健給食課長 | 丸 山 | 英 樹 |
| 家庭・地域学びの課長 | 野 池 | 達 朗 |
| 文化財課長 | 前 島 | 卓 |
| 学校支援官 | 酒 井 | 好 和 |
| 主 幹 兼 総務課長補佐 | 石 坂 | 陽 子 |
- 5 書 記
- | | | |
|-----------------|-----|-----|
| 総 務 課 庶務担当主査 | 児 島 | 真 季 |
|-----------------|-----|-----|

丸山教育長が開会を宣した。

<教育長あいさつ>

政府において、新型コロナウイルス感染症の位置付けを5月8日に2類から5類へ引き下げ、季節性のインフルエンザと同様に扱うということが決定された。感染拡大から4年目となり、感染症対策において大きな転換期を迎えることになる。国はマスクの着用について、今現在、屋内外問わず個人の選択によるとしているが、今後について、見直し検討しているところである。早ければ3月上旬には指示が出るのではないかと思っている。小・中学校においても、マスクの着用については、体育の授業などでは外してもよいとなっているが、外さない児童・生徒も少なくない。中には、マスクを外すのが恥ずかしいと思っている子もいるようである。これまで感染拡大を繰り返した3年間、ほぼ毎日マスクを着用していたので、「今日から外してよい」と言われても、戸惑う部分があると考えられる。脱マスクについては、これから国の動向を見て、また、保護者の御理解をいただきながら、子どもたちを心配させないよう検討を進めていきたい。できれば、これから迎える3月の卒業式や4月の入学式はノーマスクで行いたいところである。

本日、来春に開設する不登校の児童・生徒の新たな居場所、「S a S a L A N D」が新聞で大きく取り上げられた。今月下旬から行われる3月市議会定例会において、令和5年度の当初予算の審議を経て、御決定いただいた後から正式に着手する。事前に七二会地区の住民自治協議会や区長さんに説明にあがったところ、この事業を歓迎されており、子どもたちと地元の皆さんとの交流も期待しているというお話をいただいた。6月には現地の見学会を予定しているので、委員の皆様にも御案内したいと考えている。

<協議事項>

協議1号「請願処理結果報告について」

丸山教育長が事務局に説明を求めた。

丸山保健給食課長が説明した。

委員 なぜこれを行うのかという趣旨を子どもたちが理解、認識できるように、あらかじめ知らせておく必要があると思う。人権尊重や男女の性差、また社会的な問題（準備ができない子どもがいる）を踏まえ、生理用品を置くことの意味を子どもたちに指導する時間を作ってほしい。

丸山保健給食課長

養護教諭部会や現場アンケートからもそうした声は上がってきているので、工夫し、子どもたちの理解を得ながら進めてまいりたい。

丸山教育長が諮ったところ、原案のとおり承認された。

協議2号「第四次長野市子ども読書活動推進計画について」

丸山教育長が事務局に説明を求めた。

野池家庭・地域学びの課長が説明した。

委員 （第四次長野市子ども読書活動推進計画（案）の）32ページに関して、長野市の図書館数や本の貸出し数、読書率などは、全国的に見るとどの位置にあるのか。指標としてあると良い。

野池家庭・地域学びの課長

全国と比較した数値は持ち合わせていないが、第三次計画の中での1日当たりの読書時間が10分以上の児童・生徒の割合や、学校図書館図書標準の達成学校数の割合については非常に高くなっているため、全国的に見ても高い位置にあるのではないかと認識している。

委員 おひぎで絵本事業から始まり、乳幼児期から中学後期までは、読書時間が多くとれているように思う。今後、社会との連携の中に、放課後子どもプラザ（児童館等）との連携などを入れていくと良いのではないかと。

委員 活字離れをいかに防ぐかとあるが、今の子どもたちのほとんどは、活字ではなくネット上の動画や言葉など、文字ではない世界で情報を得るようになっている。今後、活字離れがどういった影響を及ぼしていくのか読み切れていない。活字離れを防ぐことがもたらす効果や、どういった課題が出てくるかなどを考えながら策定していく必要がある。今の子どもたちは、日常生活が活字から離れているにもかかわらず、学力測定では思考力・判断力が重視されており、問題文に活字が多くなっている。問題を読み解けず、解答するまでに至らないなど、困難さがあるのではないかと。そうしたことを考えながらやっていると良い。

丸山教育長

審議会ではそのような意見は出なかったか。

藤澤教育次長

一番多いのは、家庭でどう習慣化していくかということ。学校図書館で行ったことを、どのようにアウトリーチしていくかを考え、家庭と一緒に進めていけると良いという意見が出た。

委員 自分が子どもの頃は、本のあっせんが行われていたが、買える子とそうでない子が出てしまうということで、ここ数年行われていない。企業としては、子どもたちを後押ししたいが、公平感などによって阻害されている部分もあり、ジレンマを感じる。32ページの数値については、「0～12歳一人当たり」とあるが、令和3年度と令和9年度では、子どもの人数にも推移があるはず。その点の推察をしての数値なのか。

野池家庭・地域学びの課長

人数は減少傾向にある。市では5年ごとの推計を出しており、その実績と数値から、令和3年度は38,399人、令和9年度は33,791人として算出している。

丸山教育長

今現在、児童・生徒数は年間300～400人減っているという現状である。

委員 少子化や情報化による活字離れという問題を踏まえ、子どもの育ちを考えていかなければならない。

丸山教育長が諮ったところ、原案のとおり承認された。

<一般行政報告>

報告1号「令和4年度成人式の実施状況について」

丸山教育長が事務局に説明を求めた。

野池家庭・地域学びの課長が説明した。

- ・全館の参加率は、コロナ禍前の数値まで戻ってきている状況である。

委員 長野市での成人式は20歳で行っているのか。

野池家庭・地域学びの課長

20歳で行っている。

委員 いつまで「成人式」という言葉を使っていくのか。

野池家庭・地域学びの課長

公民館や地区ごとに成人式を開催している。今回、朝陽地区では「二十歳の成人式」、更北地区では「二十歳の門出を祝う式」とした。県内各市の状況としては、「成人式」という名称を使っているのは、本市と千曲市のみであり、「二十歳のつどい」「二十歳を祝う会」などが多いようである。

委員 この先も公民館や地区ごとの開催となるのか。

丸山教育長

引っ越しなどで、幼少期と別地区に住民票がある場合など、友人のいる他の地区での成人式に参加したいという声もあるが、その対応も公民館ごとの判断となっているので、今後考えていかなければならない。

藤澤教育次長

私立の学校に通っていたケースも同様で、芸術館での参加を希望している。

丸山教育長

子ども主体でと考えると、できるだけ集めて合同で行う方が良いかもしれない。

委員 公民館としては、地域に戻ってきてほしいという願いがあるのかもしれない。

委員 18歳で行うことは考えていないのか。

藤澤教育次長

18歳は、受験や就職などで忙しい時期でもあるので、開催するのであれば、夏という話もある。

報告2号「長野市伝統環境保存審議会委員の委嘱について」

丸山教育長が事務局に説明を求めた。

前島文化財課長が説明した。

・松代地区区長会長は昨年4月に代わっていたが、その間会議等がなかったため、今回、新任として委嘱するもの

<その他>

○教育委員会の主催、共催及び後援事業について（北島総務課長）

主催事業0件、共催事業0件、後援事業29件（賞状交付4件）

次回以降の日程確認（北島総務課長）

3月定例会 2月21日（火）午後3時から 教育委員会室

4月定例会 4月5日（水）午後3時から 教育委員会室

丸山教育長が閉会を宣した。

令和 年 月 日

会議録署名委員

教育長

同職務代理者

教育委員

教育委員

教育委員